

■ 就任記者会見挨拶文

本日は大変お忙しい中、お集まりいただき、誠に有難うございます。

台東区長の服部征夫でございます。

この度、先の台東区長選挙におきまして、多くの区民の皆様のご信託を得て、引き続き台東区の伸展のために、働かせていただくことになりました。

一昨日、三期目としての初登庁を迎えたところでございますが、改めて、区民の生命と健康、そして生活を守りぬく、基礎的自治体の長としての使命と職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

それでは、三期目のスタートにあたりまして、今後の区政運営への決意を述べさせていただきます。

区長就任後、平成三十年には、区政運営の最高指針である基本構想を策定し、区の目指す姿である将来像を「世界に輝く ひと まち たいとう」と決めました。その将来像の実現に向けて、2期8年の間、地域産業の振興、商店街の活性化、文化観光施策、ICT教育、行政のデジタル化の推進や防災・減災対策、さらに、子育て世帯や高齢者・障害者の方々に寄り添った施策の充実を図ってきたところです。

一方、令和二年初頭から度重なる感染拡大を起こした新型コロナウイルスや、国際情勢を背景とした物価高騰は、区民生活に大きな影響を与えています。

新型コロナウイルス感染症対策としては、希望される区民が円滑かつ着実にワクチンを接種できる体制の整備や、高齢者や妊産婦等重症化リスクの高い方向けの休日・夜間の発熱相談センターを区独自で迅速に設置するなど、医療体制に万全を期すよう取り組んできました。

また、物価高騰対策については、昨年12月に子供の健全な育成の推進と歳末期に合わせた区内消費の喚起のため子育て世帯に「こども商品券」を配付し、本年1月からは23区で初めてとなる、学校給食の食材調達の全面支援や、保育所・幼稚園などへの副食費等補助、子供食堂等実施団体への支援を行い、家計の負担が増している子育て世帯への支援などを行いました。

しかしながら、先送りできない課題は、未だ、山積しています。

三期目となるこれからの4年間は、江戸からつなぐ歴史と文化、新たな活力で未来を拓く、そして、台東区の将来像「世界に輝く ひと まち たいとう」の実現に向けた施策を着実に進めるため、公約で示した、4つの柱を基本に、取り組みを進めてまいります。

第一に、「あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまち」を実現します。

具体的には、妊産婦や子供、若者など一人ひとりに応じた支援を推進するため、「こども家庭センター」の機能を包含した「(仮称)北上野二丁目福祉施設」の整備を進めるとともに、妊産婦に対する出産前後の支援に取り組めます。

また、教育委員会と連携し、ICTを活用した教育の更なる充実や多様なニーズに対応した生涯学習環境を整備するため「台東区生涯学習センター」の機能強化やこどもクラブ待機児童の早期解消などに取り組んでまいります。

第二に、「いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまち」を実現します。

具体的には、新型コロナウイルス感染症への対応に引き続き取り組むとともに、帯状疱疹ワクチン、2回目のおたふくかぜワクチンの接種助成制度の創設に取り組んでまいります。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の方々に寄り添った施策の推進や特別養護老人ホームをはじめとする、「(仮称)竜泉二丁目福祉施設」の整備を進めます。

さらに、松が谷福祉会館の障害者支援機能を、先ほどご説明した「(仮称)北上野二丁目福祉施設」の整備により拡充し、障害者の社会参加を促進してまいります。

第三に、「活力にあふれ多彩な魅力が輝くまち」を実現します。

区内産業の魅力を最大限に高め、輝かしい未来への創造につなげていくために、区内中小事業者に対して、海外への販路開拓支援の充実、イノベーションや新産業の創出に繋がる場の提供など、新しい挑戦に寄り添った支援を実施します。

また、「台東区観光統計・マーケティング調査」や民間企業が提供する人流データ等を活用した効果的な観光施策の展開、江戸ルネサンス事業の後継事業などを実施します。

第四に、「誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまち」を実現します。

上野・浅草地区の歩行者中心のまちの形成に向けた検討や、東上野四丁目地区土地地区画整理事業、朝倉彫塑館通り沿道を中心とする「街なみ環境整備事業」を進めます。

また、(仮称)浅草地区まちづくりビジョンの策定や、隅田公園と一体となった水辺空間づくり、舟運の活用、旧東京北部小包集中局跡地の活用検討をより一層進めてまいります。

今年は、関東大震災から100年になりますので、区民の方、防災関係機関の方にご参加いただき、協議会を立ち上げ、関東大震災100年事業をすすめてまいります。また防災備蓄品等の購入助成の拡充や啓発活動など、防災対策に鋭意取り組んでまいります。

これらの公約を着実に達成していくためには、社会状況の変化に的確に対応し、デジタルの力によって業務効率化と区民サービスの向上の一体的な実現を目指す必要があります。

そのため、「DXの推進」として、デジタル技術を活用した業務効率化を推進し、質の高い行政サービスを提供するとともに、障害の有無や年齢などに関わらず、誰もがICTを利活用出来る社会の実現に向け、リテラシーの向上に取り組んでまいります。

以上になりますが、誰もが希望と活力にあふれ、いきいきと活躍するまちの実現に向け、まずは、六月に控える区議会定例会での補正予算の中で、私の思いをしっかりと表したいと思います。

これまでの区議会議員、都議会議員、そして8年間の任期中で培った経験や人脈等を最大限に活かして、区民の皆様、区議会議員の皆様、関係機関・関係団体の皆様と一層の連携を図り、職員の皆さんとともに全力で、区政を担っていく決意であります。

最後になりますが、報道機関の皆様には、今後とも区政情報の発信に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもって、私の就任の挨拶といたします。有難うございました。